

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

2019年 関西学生ゴルフ連盟

ゴルフ規則改正に伴う

「ルール・マナー講習会」

実施日

2月18日 13時30分～

2月20日 10時30分～

13時30分～

2月21日 10時30分～

2月23日 13時30分～

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

<本講義は、関西ゴルフ連盟主催の日本ゴルフ協会ルール講習会を元に作成しております。>

<新ルール編>

新規則を説明する前に、定義のおさらい

- ・ 一般の罰…マッチプレーではそのホールの負け、ストロークプレーでは「」打罰。
- ・ 異常なコース状態…「」、「」、「」、一時的な水
- ・ 動いた…止まっている球が元の箇所を離れて他の箇所に止まり、それが肉眼によって見ることができる（誰かが実際にそれを見ていたかどうかに関わらず）場合。球が揺れているだけで元の箇所にとどまっている、または戻っている場合は、その球は動いたことにならない。
- ・ 動かさない障害物…不合理な努力なしでは、またはその障害物やコースを壊さずには動かすことができない。その他の点において動かせる障害物の定義に合致しない物。
- ・ 動かせる障害物…合理的な努力でその障害物やコースを損傷させずに動かすことができる障害物。
- ・ 障害物…不可分な物と境界物を除くすべての人工物。

例：人口の道路、建物、避難小屋、スプリンクラー、排水溝、杭、壁、フェンス、芝刈り機、車など

- ・ 動物の穴…動物が地面に掘った穴。ただし、ルースインペディメントとしても定義される。動物が穴から掘り出して分離しているもの。地下に穴を掘った結果、盛り上がった、変化した地面のすべての区域。
- ・ ペナルティーエリア…地表レベルでその杭と杭の外側を結んだ線の縁となり、線自体はそのペナルティーエリア内である。
- ・ ルースインペディメント…分離した自然物（石、分離した草、葉、枝、動物の死骸や排泄物、分離した土の塊など）

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

1. 目的

1984年以来の大改訂 「近代化」と「わかりやすく」をテーマに改定された。

新しい規則では、

- ① 可能な限り簡単にする。
- ② もっと直観的に。
- ③ 同じ状況は同じように扱う。
- ④ プレーヤーに「罰の罨」を仕掛けるような例外をなくす。
- ⑤ ゲーム全体のためになる変更。

を目的として、ルール改訂が行われたのである。ゴルフとは従来、コースはあるがままにプレーをし、球もあるがままにプレーすることが求められる。よって、プレーヤーの行動は「誠実に」・「他人に配慮し」・「コースを保護」することが求められる。

2. 規則

<規則1の目的：プレーヤーに対してこのゲームの主要な原則を説明している。

コースはあるがままにプレーし、球はあるがままにプレーする。

規則に従い、ゲームの精神の下でプレーする。

規則に違反した場合は、マッチプレーの相手やストロークプレーの他のプレーヤーたちの潜在的な利

益を得ることが無いように自分自身で罰を適用する責任がある。>

委員会は「」を作り、重大な非行をしたプレーヤーに罰を課することができる。

プレーヤーは、自分で規則を適用し、自分に罰を課す。

故意に罰を適用しなければ、「」

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

規則を守らないことに同意した場合「」

困った時は、委員会・レフェリーに援助を求めることができる（学連の試合では学連の指示に従うこと）。

3. プレイヤーの判断について

プレイヤーが正確な決定を行うためにその状況下で合理的に判断を行なった場合後に、ビデオの証拠や他の状況によりその判断が間違っていると指摘されると

「」の決定が優先される。

3-1. クラブが損傷した場合

・そのまま使用できるかどうか？ 「」

さらに「」することができる。

3-2. 違反クラブを持ち運んだ

・違反クラブを持ち運んでも、「」しなければ罰なし。

・クラブの性能を故意に変えた場合、そのクラブで「」しなければ罰なし。

・調節可能なクラブを調整しても、元に戻してからストロークすれば罰なし。（したら「」打罰。

3-3. 15本持ってラウンドした

・プレーから除外するクラブを明確にすること。

・マーカーク別のプレイヤーに告げる。

・クラブをバックから出してカートに置く、逆さまにバックに入れるなど明確な行動を取る。

・超過クラブについての罰則は、各ホール「 打罰」である。

3-4. 球の損傷

・切れたりひびが入った場合は、他の球に取り替えることができる。

・止まっている球が損傷しているのかを確認するために、球をマークして拾い上げることができる。

・マーカークに告げる必要はない（プレイヤー自身で判断し、損傷していると考えられる場合のみ行う）。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

3-5. 距離測定機の使用

- ・原則として距離測定器を「」。
- ・委員会（学連）はその使用を禁止するローカルルールを制定することができる。
- ・計測できるのは2点間の距離のみ。
- ・レーザーやGPSの使用が可能となる、他のプレーヤーには買ってあげたり、貸与も可能。

3-6. 速やかなプレー

- ・「」秒以内にストロークすること（通常それより速くプレーできるはず）。
- ・ストロークプレーでは、「」が確保できるのであれば、準備ができたプレーヤーから先にプレーすることもできる。＝レディーゴルフを推進している。

3-7. ティーイングエリアで空振りした

- ・ティーイングエリアでストロークした球はインプレーとなる。
 - ・その球が、まだティーイングエリア内にある場合、「罰」にその球を拾い上げて、再び、そのティーイングエリア内からプレーすることができる（ティーアップも可能）。
- ＝そもそもティーイングエリアとはどこからどこまでがティーイングエリアと呼ばれる範囲なのか。

3-8. 球を探している時に球を動かした

- ・球を捜索している時に、偶然に自分の球を動かしてしまっても罰はなく、その球を「」しなければならない。

3-9. スタンスの邪魔になるOB杭を抜いた

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

・固定物を動かして、スタンスの場所やスイング区域の改善を行なっても、ストロークを行う前に、元の状態に戻せば、「
」。

3-10. 球を動かした

・「
」でリプレース。

例外 以下の場合には罰がない。

① 捜索中に偶然に。

② パッティンググリーンで、偶然に。

③ 規則を適用している時に、偶然に。

④ 規則が認めている場合

「
」すれば問題ない。

3-11. プレーヤーが原因となっているかどうか

・球を動かした原因を決定する場合、「分かっているか、事実上確実」の基準を用いる。

・分かっている 100%

・事実上確実 95%以上

プレーヤーが球を動かした原因となっている 95%確実でなければ、球は自然に動いたものとみなす。

= 「
」からプレーする。

プレーヤーや相手の外的影響でなければ自然的な要因と判断される。

3-12. ストロークした球が何かに当たる

・ストロークした球が偶然に、自分自身、自分のキャディー、自分の用具に当たっても

「
」。

・ただし、両方の球がパッティンググリーン上にある場合の2打罰は変更されていない。

・2度打ち、すなわち1回のストロークで複数回ヘッドがたまに当たった場合、罰はなく、そのストロークを1打と数えるだけとなる。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

- ・2打目で2度打ちした場合、次は3打目となる。

4. 禁止条項について

4-1. スタンス

- ・物を置いてスタンスを取ること。
なぜならアライメントも選手の「 」 だから。
- ・違反すれば「 」打罰。スタンスを解除して再度スタンスを取り直せば無罰。
- ・キャディーを後方に立たせることも罰の対象となる。リーグ戦のキャディーではくれぐれも注意してください。違反すれば「 」打罰となる。

4-2. バンカー内の球

＜バンカーは、砂地から球をプレーするプレーヤーの能力をテストするために特別に作られた区域である。プレーヤーがこの挑戦に立ち向かうことを確実にするため、ストロークを行う前に砂に触れることや、バンカーの球に対して受けることができる救済の場所に関していくつかの制限がある＞

- ・球がバンカー内の砂に触れているとき、その球はバンカー内の球となる。

Q:バンカーの壁は？

- ・バンカー内のルースインペディメントは罰なしに取り除くことができる。
- ・砂の状態をテストするために故意に砂に触れることは禁止されている。

4-3. パッティンググリーン上で球を拾い上げる

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

- ・ボールマーカーは人工物でなければならない。
- ・キャディーはプレーヤーの承認なしに拾い上げることができる。（従来はプレーヤーの許可が必要であった）
- ・プレーの線を示すために、プレーヤーかキャディーはパッティンググリーン面に触れることができる（何も改善しないことが条件）。
- ・パッティンググリーン面の損傷は種類を問わず修理することができる（エアレーションなどは損傷ではない）。
- ・グリーンにリプレースした球が動いた場合、その原因に関係なく、罰なしにリプレースしなければならない（元の位置が分からなければ推定して位置にリプレース）。
- ・グリーン上で他の球が動いているときにプレーしてもよくなりました。
- ・ストロークした球がホールに立てられている旗竿に当たっても罰はなし。球はあるがままにプレーする。
- ・球が旗竿に寄りかかっている場合、球のその一部でもパッティンググリーン面より下にあれば、その球はホールに入ったものと見なされる。
- ・旗竿は球の動きに影響する場合、故意に取り除いてはならない。違反は「」打罰。旗竿に当たらないと考えた場合は取り除くことができる。
- ・目的外のグリーン（主にサブグリーン）にスタンスがかかる際は、球が載っている場合だけでなく、スタンスやスイング区域の障害となる場合も、罰なしに救済を受けなければならない。
- ・救済処置に基づいて球をドロップ、プレーする場合、いつでも球を取り替えることができる。
- ・カート道路、修理地など、罰なしの救済の場合も、球を取り替えることができる。
- ・リプレースする際に、元の位置が分からない場合は、推定してリプレースをする。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

4-4. ドロップの方法について

- ・ドロップの方法（実演）＝「」の高さからする。
- ・「」の高さとは、真っ直ぐ立った時の膝の高さである。
- ・その際の条件は、プレーヤー自身で行い、救済エリアにドロップすること。
- ・正しいドロップでないものを打った場合、救済エリア内であれば「」打罰、エリア外であれば誤所からのプレイとなり「」打罰となる。

＝救済エリアとは??

- ・2回行って救済エリア内に落ちなければ落下した地点にリプレイス。
- ・球は、救済エリア内に落ち、救済エリア内に止まらなければならない。
- ・救済エリア等を計測するクラブレングスは、パター以外の最も長いクラブとなる。
- ・クラブレングスはトーからグリップエンドまでの長さのことをいう（全てのクラブが使用可能）。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

- ・推定で可能。

4-5. マーカーに告げなければならないか？

- ・規則に基づいて救済を受ける場合は、マーカーや他のプレーヤーに告げる必要はない。

4-6. 救済例

- ・タオルの上に球が止まる
- ・道路からの救済
- ・修理地からの救済
- ・バンカー内の水溜りからの救済（罰なしと罰ありがある）。
- ・地面の食い込んだ球の救済（基点は球の直後の地点）

4-7. ペナルティエリア

- ・ウォーターハザードに代わる新しい概念のこと。
- ・水域でなくても設定できる。
- ・イエローペナルティエリアとレッドペナルティエリアがある。
- ・できること＝ジェネラルエリアと同様（ソールやルースインペディメントを取り除くことができる）
- ・できないこと＝アンプレの処置、異常なコース状態、地面に食い込んだ球の救済。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

- ・イエローペナルティエリアの救済
- ・レッドペナルティエリアの救済

4-8. 紛失球

- ・球を捜索してから「 分」以内に球が見つからなければ紛失球となる。
- ・紛失球になった際の対応は…?
- ・球を探しに出かけた後でも暫定球をプレーできる。
＝暫定球を打つ際は「 」をする必要がある。
- ・アンプレヤブル（ストロークと距離の救済と後方線上の救済、ラテラル救済）「 」打罰。
- ・アンプレヤブル バンカーでは、
1 打罰は、ストロークと距離の救済と後方線上救済、ラテラル救済。
2 打罰は、後方線上のバンカー外。

4-9. ストロークと距離の処置に代わるローカルルール

(R&A はプロツアーにおいて推奨していない)

4-10. 最大スコア

- ・新しいプレー形式で、各ホールスコアの上限を定めることができる。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

=プレーペースの援助になる。

5. 定義において

廃止されたもの

ハザード、ウォーターハザード、ラテラル・ウォーターハザード、同伴競技者、スルーザグリーン、たまにアドレス、フォアキャディ、オブザーバー、パットの線（プレーの線となる）、公正の理念

新規に追加されたもの

動物、ボールマーカー、一般の罰、分かっているが事実上確実、ライ、救済エリア、リプレース

6. 距離測定機について

「ゴルフの精神」

ゴルフはほとんどの場合 レフェリーの立ち会いなしに行われる。また、ゴルフゲームは、プレーヤーの一人一人が他のプレーヤーに対しても心くばりをし、ゴルフ規則を守ってプレーするというその誠実さに頼っている。プレーヤーはみな、どのように競い合っているときでもそのようなことに関係なく、礼儀正しさとスポーツマンシップを常に示しながら洗練されたマナーで立ちふるまうべきである。これこそが正に、ゴルフの精神なのである。

Golf is played, for the most part, without the supervision of a referee or umpire. The game relies on the integrity of the individual to show consideration for other players and to abide by the Rules. All players should conduct themselves in a disciplined manner, demonstrating courtesy and sportsmanship at all times, irrespective of how competitive they may be. This is the spirit of the game of golf.

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

<マナー編>

=試合やラウンド前に注意すること=

要項や確認事項をきちんとチェックする。

=試合などラウンド=

スタート時間の最低「 」時間前には到着すること。

クラブハウスに到着するとまず駐車場に車を止める。

「 」から順に止めていくこと。ゴルフ場の従業員の人に会ったら挨拶を徹底する。一般のお客様に対しても同様に、学生の使ってもらってよかったと好感を持ってもらえるような行動を心がける。

キャディバックは自分で持ち運びゴルフ場の人の手を煩わせないようにする。チェックインは必ずすること。クラブハウス内に立ち入ることができる場合でも、椅子などに座らないように。

=ラウンド=

スタート時間の「 」分前にはティーングエリアの周辺に集合しておくこと。学連の指示には速やかに従うこと。使用ボールと目土袋。ルールブックを持って集合すること。

アテストをする際は、綺麗な字で、マーカー署名欄に自分の名前を書くこと。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

＝ラウンド中の注意事項＝

常に目土をすること。目土は絶やさないこと。コースの人には挨拶をして、コースは汚さないこと。

ゴミも捨てず、各自持ち帰ること。

バンカーは綺麗にならし、旗を抜く際は、グリーンの外（エッジなど）におくこと。また、キャディバックを担いだままグリーンを歩かないこと。グリーン上では走らないこと。もちろん、引きづらないこと。

＝試合が終了して＝

アテストが終了したら、速やかにキャディバックは片付けること。精算も早めに済ませる。表彰式は必ず参加すること。一般のお客様の迷惑にならないようにする。

＝目土について＝

学生料金でラウンドさせて頂いているため、徹底して目土を行うこと。使用してよかったと思ってもらえるように。

＝服装＝

防寒対策のパーカは良くない。無地のセーターを推奨する。学生らしい服装を心がけるように。

アンダーウェアも無地でなければならない。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

<正誤問題>

以下の各文章を読み、正しいか誤っているかを選んでください。

1. 異常なコース状態とは、動物の穴、修理地、動かさない障害物、一時的な水のいずれかである。
2. インプレーでない球は誤球である。
3. 止まっている球が元の箇所を離れて他の箇所に止まっても、それが肉眼によって見るができなければ、動いたことにはならない。
4. 不当にプレーを遅らせることなしに動かすことができない障害物は、動かさない障害物である。
5. 外的影響が球に影響を及ぼすことはあっても、用具や球に影響を及ぼすことはない。
6. キャディーがバンカーの砂をならしている間に、キャディーの代わりにプレーヤーのクラブを運んだ人はそのプレーヤーのキャディーとみなされる。
7. 動物が地下に穴を掘った結果、盛り上がった地面は動物の穴ではない。
8. 土で構成されたバンカーの壁はバンカーの一部ではない。
9. 不適合クラブをバックに入れて持ち運んでも、ストロークを行わなければ罰はない。
10. バックに14本を超えるクラブが入っていることに気付いたプレーヤーはプレーから除外するクラブを他のプレーヤーに宣言する代わりに、そのクラブをバッグに逆さまに入れることもできる。
11. 委員会はプレーのペースの方針をローカルルールで設定していなくても、不当にプレーを遅らせたプレーヤーに対して、最初の違反には1打罰、2回目の違反には一般の罰、3回目の違反には失格の罰を課することができる。
12. ティーショットを空振りしたプレーヤーが、ティーの高さを変えてから再度ストロークした場合には、1打罰を受ける。
13. 球を確認するために、球に近づいた時に、誤って落としてしまったクラブがたまに当たって動いた。この場合、無罰である。
14. ストロークの邪魔になるOB杭を動かしたが、ストロークの前に元の位置に戻した。この場合、一般の罰を受ける。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

15. 2度打ちしても罰はない。
16. プレイヤーはキャディーをプレーの線の球の後方線上近くに立たせて、球を行方を確認させても良い。
17. ストロークした球が自分のキャディーバックに当たっても罰はない。目的外のグリーンがスタンスの障害となる場合、救済を受けることができる。
18. ホールに立てたままにした旗竿にパットした球が当たっても、罰はない。
19. キャディーはパッティンググリーン上に限り、プレイヤーの承認がなくても、球をマークして拾い上げることができる。
20. ラフのタオルの上に球が止まった場合、そのタオルを取り除いて、球があった場所の真下にプレースすることになる。
21. ペナルティーエリアに球がある場合、水面にクラブが振れても罰はない。

2019年2月1日

2019年 ゴルフ規則改正に伴う「ルール・マナー講習会」

関西学生ゴルフ連盟

2019年2月17日発行

制作：H30年委員長 玉田憲一郎

委員長 中村いくみ

注：無断転載を禁じる。